

財 務 局 長 挨拶

【 第4回北陸地域連携プラットフォーム 平成26年11月20日(木) 】

本日は御多忙の中、第4回の「北陸地域連携プラットフォーム」に御出席をいただきまして誠に有り難うございます。

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

人口減少社会の課題については、いち早く御議論を進めていただいたところですが、メンバーの方の一部交代や当局の人事異動等をはさんで、先月、御都合がつく方で運営連絡会を開催させていただきました。これまでは、比較的総論的な御議論をいただいたわけですが、今後は、北陸地域の特色を踏まえた議論を深め、各論に入っていくとの共通理解があったように思います。

国においては、まち・ひと・しごと創生本部が立ち上がり、現在、「長期ビジョン」及び「総合戦略」について議論されているところであり、また、経済財政諮問会議の専門調査会である「選択する未来」委員会においても、報告書が取りまとめられたと聞いております。

人口減少、高齢社会の課題は、我が国の経済、財政、金融なども含めた多くの分野において根本的な課題に結び付き、そのシステムの重大な見直しが迫られているものではないかと思えます。そして、地方創生の議論はその解決の極めて重要なものではないかと考えています。

今後、まちの創生、ひとの創生、しごとの創生といった議論がなされていくと聞いておりますが、それぞれの地域で、それぞれの伝統、文化、価値観、地域資源などの下で、つまるところ地域のことは地域で考え、議論し選択して行くほかはないのではないかと思いますので、その解決のための道筋の一つを当プラットフォームでの御議論で提供できるようになればと考えています。

本日は、富山市の神田副市長をお招きし、「富山市におけるコンパクトなまちづくりの進捗と展望」についてお話しいただくこととしております。神田副市長は、国交省において、景観法の制定やLRT支援制度の創設などコンパクトなまちづくりのための制度づくりに取り組みされた後、現在は富山市において、森市長の下、市政の中核を担っておられると承知しております。本日は、大変な御多忙にも拘わらず、講演資料も非常に丁寧に作成いただいております。講演後の活発な意見交換も、よろしくお願い致します。

また、関連して事務局より、まちづくりの一つのツールとして、公的財産の活用の取り組みを紹介させていただくこととしております。

なお、次回は、年明け1月20日（火）に開催したいと考えておりますが、本日の御議論などを踏まえ、その内容については、今後対応していきたいと考えております。御多忙な時期かとは存じますが、御出席方、よろしくお願い致します。簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。

以上